

宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第21週の発生動向

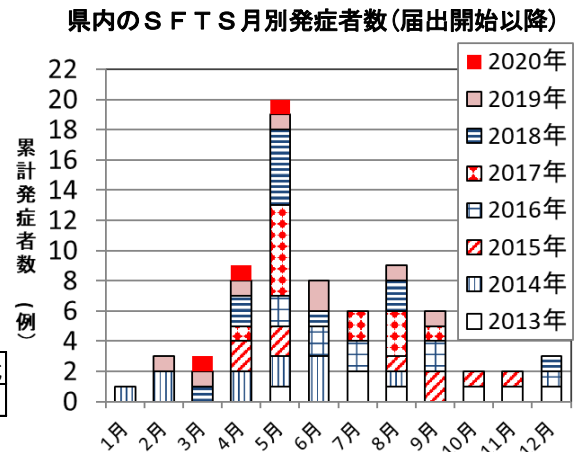
□今週のトピックス

・重症熱性血小板減少症候群（SFTS）

（全数報告の感染症）の報告が宮崎市保健所管内から1例あった。患者は70歳代の女性で、ダニの刺し口は確認できなかった。県内での報告は今年3例目で、累計72例（平成25年3月届出開始以降）となった。

県内のSFTS 年齢別報告数(届出開始以降)

20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代
1	1	2	3	19	25	16	5



□ 全数報告の感染症（21週までに新たに届出のあったもの）

- 1類感染症：報告なし。2類感染症：結核4例。3類感染症：報告なし。
4類感染症：重症熱性血小板減少症候群1例。5類感染症：梅毒1例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	70歳代	女	無症状病原体保有者	—
		都城	70歳代	男	肺結核	—
		日向	40歳代	女	無症状病原体保有者	—
			50歳代	女	無症状病原体保有者	—
4類	重症熱性血小板減少症候群	宮崎市	70歳代	女	—	発熱、下痢、血小板減少、白血球減少、リンパ節腫脹
5類	梅毒	小林	50歳代	男	早期顕症梅毒（I期）	硬性下疳、鼠径部リンパ節腫脹

□ 定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は242人（定点当たり6.7）で、前週比104%とほぼ横ばいであった。なお、前週に比べ増加した主な疾患はヘルパンギーナと流行性耳下腺炎で、減少した主な疾患は咽頭結膜熱と水痘であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

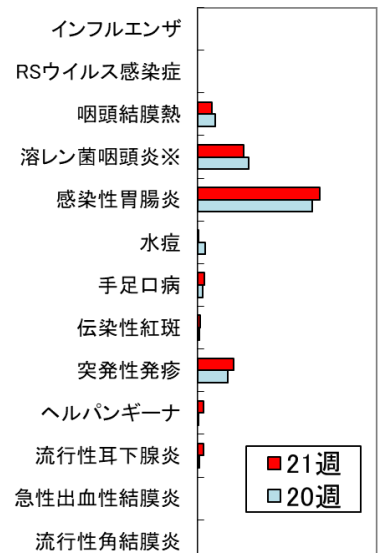
報告数は46人（1.3）で、前週比90%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*（3.2）の約0.4倍であった。宮崎市（2.5）、日南（1.7）、都城（1.5）保健所からの報告が多く、年齢群別は4~6歳が全体の約半数を占めた。

【感染性胃腸炎】

報告数は123人（3.4）で、前週比107%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*（9.7）の約0.4倍であった。小林（7.0）、日向（6.3）、都城（5.2）保健所からの報告が多く、年齢群別は6ヵ月~3歳が全体の約半数を占めた。

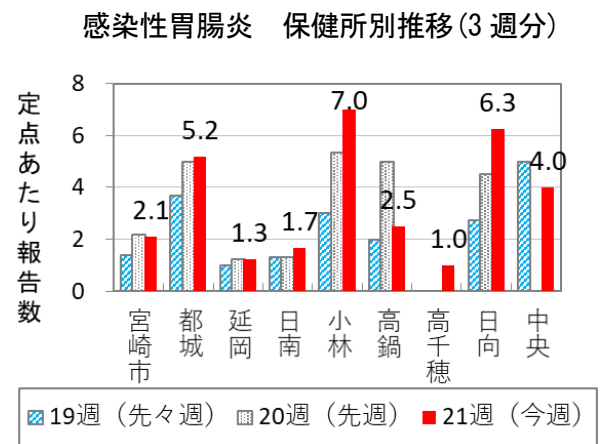
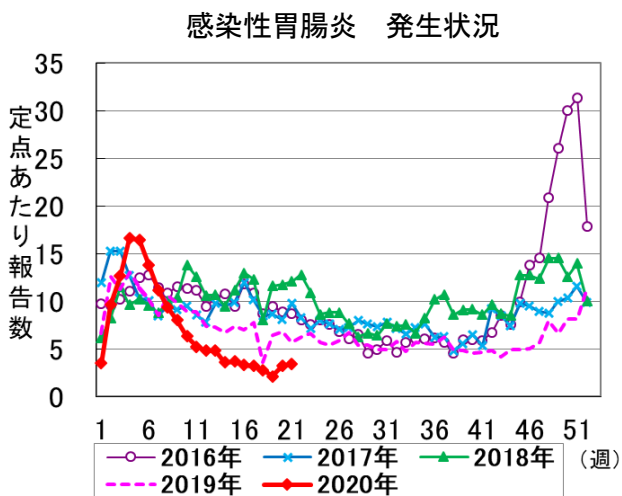
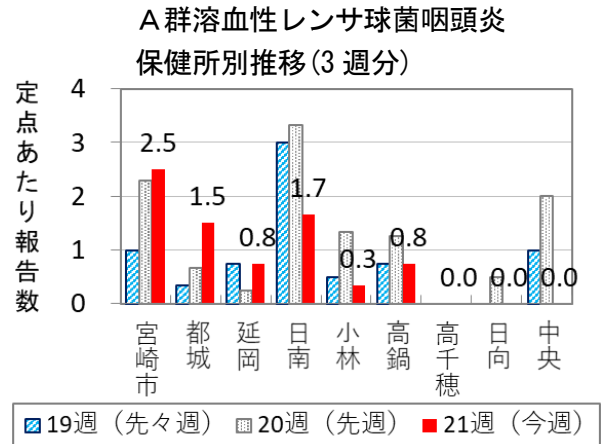
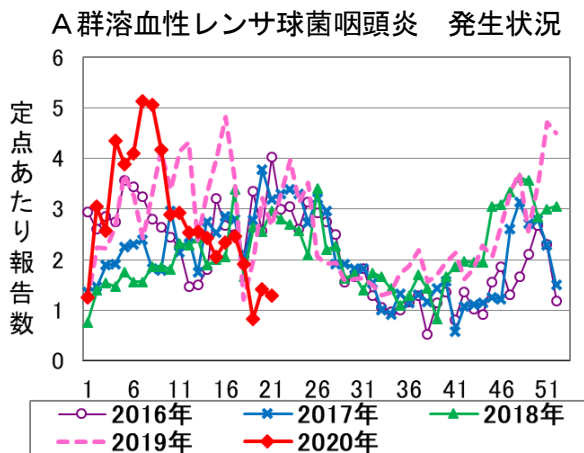
* 過去5年間の当該週、前週、後週（計15週）の平均

《前週との比較》



0 5
定点あたり報告数

※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



★基幹定点からの報告★ 報告無し。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患★ なし。

□病原体検出情報 (衛生環境研究所微生物部 令和2年5月26日までに検出)

★細菌

同定細菌名	年齢	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同定日
EPEC(O:OUT:HUT)	80歳代	女	2020.4.17	発熱(38.5℃)、下気道炎(肺炎)	便	2020.4.28
Salmonella Thompson(O7:k:1,5)	5~9歳	女	2020.5.11	発熱(39.0℃)、胃腸炎(水様性下痢)	便	2020.5.20
Salmonella Thompson(O7:k:1,5)	5~9歳	男	2020.5.11	胃腸炎(水様性下痢)	便	2020.5.20

★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取年月日	臨床症状等	検出材料	分離・検出日
アデノウイルス3型	5~9歳	男	2020.2.12	不明熱、発疹(全身の紅斑)、40.0℃、上気道炎(扁桃炎)	咽頭ぬぐい液 便	2020.5.14
パラインフルエンザウイルス1型	5~9歳	女	2020.3.10	気管支炎(喘息様)、38.3℃、咳、喘鳴	咽頭ぬぐい液	2020.5.20

○発熱、発疹症状のある小児からアデノウイルス3型が分離された。アデノウイルス3型は咽頭結膜熱などの急性呼吸器疾患に関連し、小児でよくみられるウイルスである。無症候性の場合もあることから臨床症状は多彩である。

○呼吸器症状のある乳幼児からパラインフルエンザウイルス1型が検出された。パラインフルエンザウイルスは小児における下気道炎の起因となるウイルスで、重症化すると肺炎等を起こす場合があるため注意が必要である。

🇯🇵 全国 2020 年第 20 週の発生動向

□ 全数報告の感染症（全国第 20 週）

1類感染症	報告なし		
2類感染症	結核	250 例	
3類感染症	細菌性赤痢	1 例	腸管出血性大腸菌感染症 24 例
4類感染症	E 型肝炎	6 例	A 型肝炎 4 例
	つつが虫病	2 例	日本紅斑熱 5 例
5類感染症	アメーバ赤痢	6 例	ウイルス性肝炎 3 例
	急性弛緩性麻痺	1 例	急性脳炎 1 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	11 例	後天性免疫不全症候群 15 例
	侵襲性肺炎球菌感染症	17 例	水痘（入院例） 5 例
	播種性クリプトコックス症	2 例	破傷風 2 例
	薬剤耐性アシネトバクター感染症	1 例	
重症熱性血小板減少症候群			1 例
			レジオネラ症 12 例
			カルバペネム耐性腸内細菌感染症 18 例
			クロイツフェルト・ヤコブ病 1 例
			侵襲性インフルエンザ菌感染症 1 例
			梅毒 75 例
			百日咳 23 例
指定感染症	新型コロナウイルス感染症	230 例	

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 144%と増加した（祝祭日の休診含む）。なお、前週と比較して増加した主な疾患は A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎及び手足口病で、減少した主な疾患は特になかった。

A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は 1,794 人(0.6)で前週比 154%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値* (2.8)の約 0.2 倍であった。新潟県(2.3)、岩手県、鳥取県(2.1)からの報告が多く、年齢群別では 3~5 歳が全体の約 4 割を占めた。

感染性胃腸炎の報告数は 3,468 人(1.1)で前週比 151%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値* (6.6)の約 0.2 倍であった。鹿児島県(3.7)、宮崎県(3.2)、大分県(3.0)からの報告が多く、年齢群別では 1~3 歳が全体の約 3 割を占めた。

* 過去 5 年間の当該週、前週、後週（計 15 週）の平均

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2020年 第21週(05月18日～05月24日)

疾病名	第20週	第21週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数 定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数 定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数 定点当り	18 0.50	14 0.39	5 0.50	2 0.33	2 0.50	0.00	4 1.00	0.00	1 0.25	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数 定点当り	51 1.42	46 1.28	25 2.50	9 1.50	3 0.75	5 1.67	1 0.33	3 0.75	0.00	0.00
感染性胃腸炎	報告数 定点当り	115 3.19	123 3.42	21 2.10	31 5.17	5 1.25	5 1.67	21 7.00	10 2.50	1 1.00	25 6.25
水痘	報告数 定点当り	8 0.22	1 0.03	1 0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数 定点当り	5 0.14	7 0.19	2 0.20	1 0.17	1 0.25	0.00	1 0.33	0.00	0.00	2 0.50
伝染性紅斑	報告数 定点当り	2 0.06	3 0.08	1 0.10	1 0.17	1 0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数 定点当り	30 0.83	36 1.00	12 1.20	8 1.33	5 1.25	5 1.67	0.00	2 0.50	0.00	4 1.00
ヘルパンギーナ	報告数 定点当り	1 0.03	6 0.17	2 0.20	2 0.33	1 0.25	0.00	0.00	1 0.25	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数 定点当り	2 0.06	6 0.17	2 0.20	0.00	1 0.25	2 0.67	1 0.33	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数 定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性角結膜炎	報告数 定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
細菌性髄膜炎	報告数 定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
無菌性髄膜炎	報告数 定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
マイコプラズマ 肺炎	報告数 定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
クラミジア肺炎	報告数 定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数 定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2020年第1週～21週)

2類感染症	結核	68例(4)		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	3例		
4類感染症	A型肝炎	2例	重症熱性血小板減少症候群	3例(1)
	日本紅斑熱	1例	レジオネラ症	4例
5類感染症	アメーバ赤痢	5例	ウイルス性肝炎	1例
	急性脳炎	1例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2例	侵襲性肺炎球菌感染症	8例
	梅毒	5例(1)	播種性クリプトコックス症	1例
指定感染症	百日咳	37例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	1例
	新型コロナウイルス感染症	17例	後天性免疫不全症候群	1例
			水痘(入院例)	5例
			破傷風	2例

()内は今週届出分、再掲